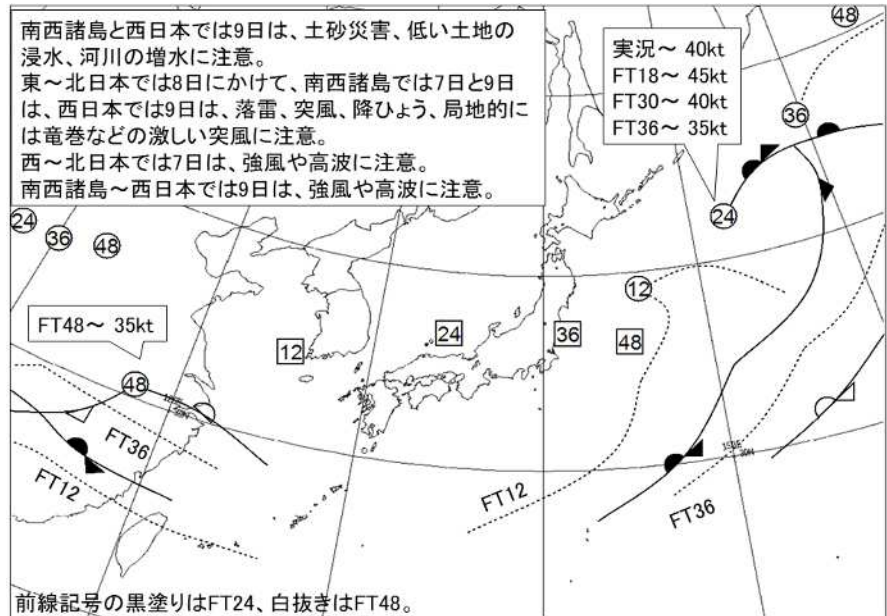


1. 実況上の着目点

- ① 黄海に高気圧があつて南東へ移動。南西諸島には前線が停滞している。
- ② 500hPa 5580m付近で -18°C 以下の寒気を伴うトラフが東日本にあつて東進。松江の6日21時の高層観測では500hPaで -20.3°C を観測。上空の寒気の影響で東日本では1時間に15mm前後のやや強い雨を解析している。
- ③ 関東の東に前線を伴った低気圧があつて北東進。低気圧や前線の近傍で強い風が吹き、波の高い所がある。
- ④ 衛星画像では、華北～黄海や東シナ海に黄砂が見られる。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 8日にかけて1項①の高気圧が黄海から日本の東へ移動するが、1項②のトラフは7日朝にかけて日本の東へ進み、7日午後～8日朝にかけて500hPa 5640m付近で -18°C 以下の寒気を伴うトラフが本州を通過し、8日午後は500hPa 5520m付近のトラフが北日本を通過する。前線や上空寒気と日中の昇温により、大気の状態が不安定となる所がある。南西諸島では7日は、東～北日本では8日にかけて、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 1項③の低気圧は、7日は日本の東を発達しながら北東進し、8日は千島の東へ進む。低気圧や前線の影響で強い風が吹き、波が高くなる所がある。西～北日本では7日は、強風や高波に注意。
- ③ 500hPa 5760m付近の正温度移流に対応して、8日夜には前線上の華中で低気圧が発生し、発達しながら北東進して9日夜には日本海西部へ進む。低気圧からのびる前線に向かって850hPaの相当温位345K以上の暖湿気が流入して大気の状態が非常に不安定となり、激しい雨の降る所がある。また、低気圧や前線の影響で強い風や非常に強い風が吹き、波が高くなりしける所がある。南西諸島～西日本では9日は、低い土地の浸水、土砂災害、河川の増水に注意し、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。また、強風や高波に注意。
- ④ 南西諸島と西日本では、8日にかけて黄砂が飛来する予想がある。視程の悪化による交通障害に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本とするが、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 波浪(明日まで)：東北・伊豆諸島3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。